

図書館へいこう!

第162回直木賞芥川賞受賞作入荷!

<直木賞受賞>

「熱源」

川越 宗一/著



樺太で生まれたアイヌ、ヤモメクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。

<芥川賞受賞>

「背高泡立草」

古川 真人/著



草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の、歴史と記憶の物語。『すばる』掲載を単行本化。

話題の新着本

「タイガー理髪店心中」

小暮 夕紀子 / 著

穏やかだった妻の目に殺意が兆し、夫はつかの間、妻の死を思う。のどかな田舎町で変転する老夫婦の過去と行く末とは?



「騒がしい楽園」 中山 七里 / 著

埼玉県片田舎から都内の幼稚園に赴任してきた幼稚園教諭・神尾舞子。待機児童、親同士の確執など様々な問題を抱える中、動物の惨殺事件が立て続けに発生。やがて、事態は最悪の方向へ。



「国道食堂」 小路 幸也 / 著

ちょっと田舎にあるけれど、何を食べても美味しい食堂<ルート517>。そこは、お店の中にプロレスのリングがあつて…。ちょっと変わった店に通う人々の様々なドラマを描く。



「イマジン?」 有川 ひろ / 著

憧れていた映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。専門用語が飛び交う慣れない現場であたふたする良助だったが、作品と向き合う仲間たちの熱気に、焦がれるような思いを募らせ…。



「清明」 今野 敏 / 著

神奈川県警刑事部長に着任した異色の警察官僚・亀崎伸也に、警視庁との軋轢、公安と中国の巨大な壁が立ちちはだかる。一方、妻の冴子が交通事故を起こしたという一報が…。



今月のBEST本

(1月の貸出回数上位本)

「みちづれの猫」

唯川 恵/著

実家の猫に死期が近いことを母親から知らされ、私は東京から金沢に向かうが…。「ミャアの通り道」をはじめ、猫に寄り添われ救われてきた女性たちを描く7編の短編集。



3・4月のイベント情報

3/14	14:00~	おはなし会
3/21	14:00~	おはなし会
3/28	14:00~	おはなし会
4/ 4	14:00~	おはなし会

